

平成26事業年度

決 算 報 告 書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

国立大学法人東京農工大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人東京農工大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,886	7,060	173	(注1)
施設整備費補助金	1,950	1,952	1	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,197	1,058	△ 139	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	36	57	21	(注4)
自己収入	3,869	3,924	55	
授業料，入学料及び検定料収入	3,348	3,352	3	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	520	571	51	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,312	2,429	117	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	380	341	△ 38	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	100	100	-	
計	16,731	16,924	192	
支出				
業務費	11,165	10,364	△ 800	
教育研究経費	11,165	10,364	△ 800	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	1,986	2,351	365	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,197	1,058	△ 139	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,312	2,329	16	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	70	70	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	16,731	16,173	△ 557	
収入-支出	-	750	750	

※決算報告書は百万円未満切り捨てにより作成しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人が行う、「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠、教育改善推進枠及び年俸制導入促進費の各事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が173百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、大雪による府中幸町宿舍の被害に係る災害復旧事業の追加交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国及び独立行政法人等の補助金の獲得に務めたものの、獲得額が想定額を下回ったため、予算額に比して決算額が139百万円少額となっています。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、(小金井)図書館空調設備改修分の追加交付を受けたため、予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料収入の増等により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、自動販売機設置に係る手数料収入及び動物診療収入等の増加により、予算額に比して決算額が51百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国及び民間等からの受託研究及び共同研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が117百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、学生寮建設費用に係る設計費の一部を自己資金で負担したこと等により、予算額に比して決算額が38百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、年度計画策定時点では業務費で整理していた長期借入金に係る支出を施設整備費に整理したこと及び平成26年度に実施する予定だった小金井地区サークル棟の移転等の事業が平成27年度へ繰延となったこと等により、予算額に比して決算額が800百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、年度計画策定時点では業務費で整理していた長期借入金に係る支出を施設整備費に整理したこと並びに(注2)及び(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が365百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が139百万円少額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。なお、支出額のうち前年度からの繰越額に係る分は114百万円となります。